

インタビューの  
記録から

「教頭は職員室の担任」という気持ちで、毎日取り組んでいます。」

「楽しくて温かい雰囲気の中にも、職業人としてのプロ意識と自分への厳しさが必要だと感じています。」

「職員同士で良い関係を築ける教師は、生徒とも良い関係を築くことができます。」

先生方が一つ  
になつていると、  
私自身もヤル気  
がどんどん出て  
くるわ！

職員に促したい気付き



## 一枚岩の教師集団をつくりたい

そこで

先生方とのかかわりを大切にして、温かさと厳しさのある職員室文化を生み出し、指導の方向性を一致させたり組織の一員としての意識の高揚を図ったりしましょう。

たとえば

自分からどんどん声を掛けて、話しやすく相談しやすい関係をつくっています。自分自身の行動と、思いを伝える言葉掛けや指導助言で、同じ学校の教師としての一体感を高めています。

一人一人を大切に思う

出勤してくる教員に毎朝自分から声を掛け、表情やあいさつの様子から、その日の気分や体調を把握する。

目立ちにくい教員の地道な取組を認め、他の教員に伝え広げる。

職員の会話に加わり、努力していることや悩みなどを聞く。

助言を求められた時には、言葉だけではなく、資料も探してアドバイスする。

ピシッと指導する

教職員の来校者への対応の仕方、生徒への言葉遣い、指導場面への協力などが不十分な場面では、機を逃さず指導する。

「電話は2回のコールまでに出る」など、組織を意識した指導をする。

1時間の授業カットでも簡単には行わない。

指導案を大切に、その記述内容にこだわる。

自らの行動で伝える

教職員が生徒を指導している場面に一緒にいる。

生徒の変化に気付いた時には、率先して指導する。

来校予定者は、校門で迎える。

授業を参観したら、すぐによさや課題を伝える。

何事も、まず自分が動く。

一枚岩の教師集団

教頭

教務主任

学年主任

研修主任